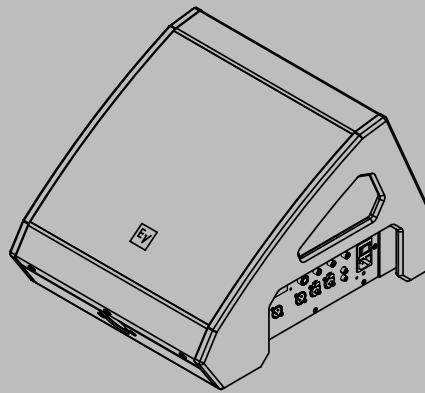


PXM-12MP Powered Monitor

PXM-12MP-EU | PXM-12MP-US







目次

1	安全性	4
1.1	安全に関する重要事項	4
1.2	FCC に関する情報	5
1.3	ご注意	5
1.4	注意事項	6
2	製品説明	7
2.1	システムの特徴	7
2.2	クイックセットアップ	7
3	フロアモニター、スタンド、およびポールマウントの操作	9
3.1	フロアモニター	9
3.2	スタンド	10
3.3	サブウーハーを取り付けたポールマウント	10
4	入カパネルと DSP	12
4.1	入カパネルコントロール	12
4.2	システムの状態	13
4.3	DSP コントロール	14
4.4	DSP コントロールメニュー	14
4.5	DSP パラメータ定義	15
5	推奨構成	18
5.1	専用モニター	18
5.2	ステレオ PA	19
5.3	サブウーハーを使用したメイン PA	20
6	トラブルシューティング	21
7	テクニカルデータ	23
7.1	軸外応答	24
7.2	寸法	26

1 安全性

1.1 安全に関する重要事項

 <p>警告: 火災や感電の危険性を避けるため、本機器を雨や水蒸気に長期間さらすことのないようにしてください。</p> <p>AVIS: RISQUE DE CHOC ELECTRIQUE, NE PAS OUVRIR.</p> <p>警告: 電源プラグまたは AC コンセントが遮断装置として使用されます。遮断装置はすぐに操作可能な状態を保ちます。</p> <p>警告: 保護アースが接続された電源ソケットにのみ接続してください。</p> <p>警告: 感電の危険性を避けるため、カバー(および背面)は外さないでください。内部にユーザーが修理可能な部品はありません。修理については、弊社販売代理店に確認してください。</p>		<p>正三角形に電光と矢印がある記号は、製品のケース内に絶縁されていない「危険電圧」が存在し、感電の危険があることを警告するものです。</p>
		<p>正三角形に感嘆符のある記号は、本装置の取扱説明書に記載されている操作と保守(整備)の重要な指示への注意を喚起するものです。</p>
		<p>正三角形にアスタリスクのある記号は、本スピーカー・システムに関連する装置とハードウェアの必要な設置と取外しの指示を知らせるものです。</p>

1. 次の重要事項を確認してください。
2. 電源コードを踏んだり、プラグ、コンセント、装置から出た部分がはさまれたりしないように保護してください。
3. メーカー指定の付属品やアクセサリを使用してください。
4. カート、スタンド、三脚、ブラケット、テーブルはメーカー指定のもの、または装置と同時販売されたものを使用してください。カートを使用する場合は、装置をカートに載せて移動中に転倒して、怪我をすることがないように注意してください。
5. 雷が鳴り出した時や、長期間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
6. 保守整備は資格を持っている担当者に相談してください。電源コードやプラグの破損、装置への液体のこぼれ、物の落下、雨または湿気の浸入、装置の不適切な操作、落下など、何らかの原因で装置が破損した場合は、修理を依頼してください。
7. 次の重要事項を遵守してください。
8. すべての警告に留意してください。
9. すべての重要事項を遵守してください。
10. 本装置は水の近くで使用しないでください。
11. 本装置は乾いた布以外で清掃しないでください。
12. 通気口をふさがしないでください。メーカーの説明書に従って設置してください。
13. ラジエータ、暖気吹き出し口、ストーブ、その他の熱発生源(アンプを含む)の近くに本装置を設置しないでください。
14. 安全を目的として採用されている極性プラグやアース付きプラグを正しく使用してください。有極プラグには幅の違う2枚のブレードがあります。アース・プラグには2枚のブレードと1つのアース棒端子があります。広いブレードまたは3本目の棒端子は安全のためのものです。付属ケーブルのプラグがコンセントに合わない場合は、電気工事店に依頼し古いコンセントを新しいものと交換してください。
15. 火のついた口ウソクなど、直火の熱源を装置の上に置かないでください。
16. 十分な通気を確保できるように、装置の周囲に最低 60 cm (2 ft) の間隔をあけてください。

17. 新聞やテーブルクロス、カーテンなどで排気口がふさがれ、排気が妨げられないようにしてください。
18. 本装置を AC 電源から完全に切断するには、電源プラグをコンセントから抜いてください。
19. 火災や感電の危険を避けるため、本装置を雨や湿気にさらさないようにしてください。装置に水滴が落ちたり、水が飛び散ったりしないようにしてください。花瓶など、液体が入ったものを装置の上に置かないでください。

1.2

FCC に関する情報

FCC サプライヤーの適合宣言

F.01U.362.554	PXM-12MP	12 インチ同軸パワードモニター、US、黒
---------------	----------	-----------------------

適合性宣言

この装置は、FCC 基準パート 15 に準拠しています。操作は次の 2 つの条件に規制されます。

1. 電波障害を起こさないこと、および
2. 誤動作の原因となる電波障害を含む、すべての受信した電波障害を受け入れること。

責任当事者

Bosch Security Systems, LLC
 130 Perinton Parkway
 14450 Fairport, NY, USA
www.boschsecurity.us



規制遵守の責任者から明確に許可を得ないで変更または改造した場合、本装置の使用権限が無効になることがあります。



注: この製品は、FCC 基準パート 15 に準ずる Class B のデジタル装置の制限事項に準拠しています。これらの制限事項は、住宅地域で使用した場合に生じる可能性のある電波障害を規制するために制定されたものです。本製品は高周波エネルギーを生成し使用しています。また、高周波エネルギーを放射する可能性があるため、指示に従って正しく設置しなかった場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。ただし、特定の設置で障害が発生しない保証はありません。本装置がラジオやテレビの受信に障害を与えていないかを判断するには、本装置の電源を入れたり、切ったりしてみます。受信障害が発生している場合には、以下の方法で受信障害を改善することをお勧めします。

- 受信アンテナの方向または設置位置を変える。
- 本製品と受信機の距離を離す。
- 本製品と受信機の電源系列を別の回路にする。
- 販売店やラジオ/ビデオの専門技術者に問い合わせる。

1.3

ご注意


	Electro-Voice スピーカーを晴れた日に屋外で使用する場合は、日陰または覆いのある場所に配置してください。本スピーカーのアンプには、温度が非常に高くなったときに本スピーカーの電源を一時的にオフにする保護回路が内蔵されています。本スピーカーを直射日光に当てると、この動作が発生する可能性があります。
	Electro-Voice スピーカーは、0°C (32°F) 以下または +35°C (95°F) を超える環境で使用しないでください。

	Electro-Voice スピーカーを雨水、高湿度にさらさないでください。
	Electro-Voice スピーカーは、カバーエリアの範囲内にいる人が永続的な難聴になるほどの音圧レベルを簡単に生成できます。長期間 90 dB を超える音圧レベルにさらされないように注意してください。

1.4

注意事項

古くなった電気および電子機器

	本製品およびバッテリーは、家庭用のごみと分別して廃棄しなければなりません。これらの機器は、地域の法律および規制に従って廃棄し、再利用またはリサイクルできるようにしてください。これにより、資源を節約し、人間の健康と環境の保護に役立てることができます。
---	--

著作権および免責事項

All rights reserved.形態や媒体を問わず、電子的、機械的、フォトコピー、録画、またはその他の方法で、発行者の書面による許可なく本書の内容の一部またはすべてを複製または転送することは禁じられています。情報の転載および引用許可を申請する場合は、Electro-Voiceまでご連絡ください。仕様、データおよび図を含む本マニュアルのすべての内容は、予告なく変更されることがあります。中国での使用：中国版 ROHS 開示表

针对在中国境内的使用：CHINA ROHS披露表

扬声器

根据SJ/T 11364-2014编制的有害物质表						
	Pb (Pb)	Hg (Hg)	Cd (Cd)	Cr 6+ (Cr 6+)	PBB (PBB)	PBDE (PBDE)
电路板	○	○	○	○	○	○
电子组件	X	○	○	○	○	○
换能器	X	○	○	○	○	○
显示屏	X	○	○	○	○	○
电缆和导线	○	○	○	○	○	○
塑料材料	○	○	○	○	○	○
金属材料	X	○	○	○	○	○
木质和纸质材料	○	○	○	○	○	○
涂料与涂层	○	○	○	○	○	○
本表系根据SJ/T 11364的规定编制而成						
○：上述有害物质在所有包含该物质的均质材料中的含量均低于GB/T 26572规定的限值						
X：上述有害物质在特定均质材料中的含量均高于GB/T 26572规定的限值						

关于该类产品生产日期代码的详细说明，请见：

<http://www.boschsecurity.com/datecodes/>

2 製品説明

PXM-12MP は、高出力とクリアな音声を実現できるように設計された多機能同軸パワードモニターです。本製品は、ユーザーが自分や他のユーザーをモニターする必要がある用途に最適です（特に、プライマリ PA が使用されている状況）。複数の入力と調整プリセットにより、その他の広範囲な用途にも対応できます。内蔵プリセットと標準的なスピーカースタンドマウントを使用して、PA としても使用できます。

本システムには 12 インチの同軸トランスデューサーと 1.75 インチのネオディミウムコンプレッションドライバーが備わっており、Dynacord が設計した 2 チャンネルの 700 W アンプとデジタル信号処理によって作動します。コンポーネントが入っているエンクロージャは硬質の 15 mm ベニヤ板でできており、ポリウレタベースの EV コートと 15 GA のパウダーコート塗装されたスチール製グリルによって保護されています。本システムは軽量で複数のハンドルが付いているため、容易に持ち運ぶことができます。

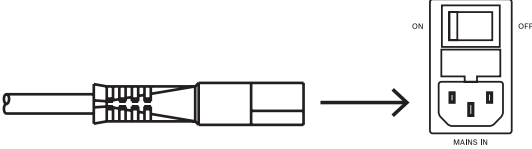
Electro-Voice スピーカーをお買い上げいただき、ありがとうございます。本書をお読みになり、Electro-Voice スピーカー・システムに組み込まれた機能を理解し、その性能をご活用ください。

2.1 システムの特徴

- フロアウェッジまたはメイン PA として使用できる多機能モニターシステム。
- QuickSmartDSP は、クラス最高の処理機能を備えています。4 種類のプリセット、サブ/トップシステムマッチ、スリーバンド EQ、ユーザーがプログラム可能な 5 種類のプリセット、リミッタ状態のビジュアル監視、入力レベルのコントロールとメーター、ゲイン構造を最適化するマスターボリュームコントロールを使用し、いずれも LCD から簡単にセットアップできます。
- Dynacord が設計した 700 W Class-D パワーアンプは、EV 製の高感度トランスデューサーを使用し、最大 129 dB のピーク音圧レベルを実現します。
- システムの信頼性は 500 時間以上にわたる乱用試験や耐久性試験で実証されています。

2.2 クイックセットアップ

本装置を素早くセットアップするには、以下の手順を行います。

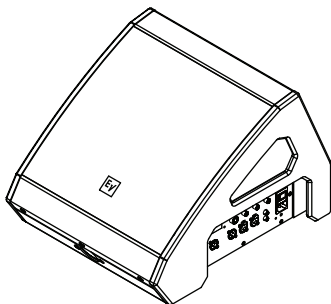
手順	説明図
1. AC 電源コードをアース付きコンセントから MAINS IN に接続します。	

手順	説明図
<p>2. 音声ソースから、XLR または ¼ インチ TRS ケーブルを INPUT 1 または INPUT 2 に接続します。</p> <p>(または、ステレオ RCA ケーブルを INPUT 3 に接続できます)</p>	
<p>3. 関連する INPUT LEVEL つまみを $-\infty$ (無限) に調整します。</p>	
<p>4. MAINS IN 電源スイッチを ON にします。</p>	
<p>5. LCD 上の信号レベルが CLIP にならない範囲で目的のレベルになるまで、INPUT LEVEL を上げます。</p> <p>(音声信号がソースから出ていることを確かめてください)</p>	
<p>6. MASTER VOLUME を目的の出力レベルまで上げます。</p>	

3 フロアモニター、スタンド、およびポールマウントの操作

3.1 フロアモニター

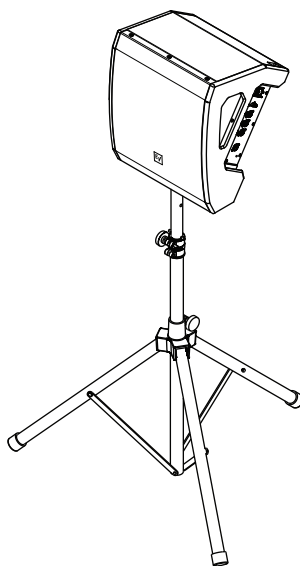
PXM-12MP モニターはフロア配置用に最適化されています。



本装置をモニターとしてセットアップするには、以下の手順を行います。

1. フロア面が平らで安定しており、異物がないことを確かめます。
2. PXM-12MP をフロア面に配置します。
3. 自分の位置を基準として、スピーカーが自分の頭と同じ軸上に存在するようにスピーカーを配置します。
4. ケーブルを散乱させずにきちんと管理できるよう、必要なケーブルをケーブル通し穴に通します。
5. システムの電源を入れ、「クイックセットアップ」のセクションで説明されているように設定します。
6. DSP MODE が MONITOR 1、MONITOR 2、または GUITARCAB に設定されていることを確かめます。

3.2 スタンド



本モニターをスタンド上にセットアップするには、以下の手順を行います。



注意!

本スピーカーについて、三脚の安全性は評価されていません。三脚スタンドの仕様を参照し、本スピーカーの重量に耐えられることを確認してください。

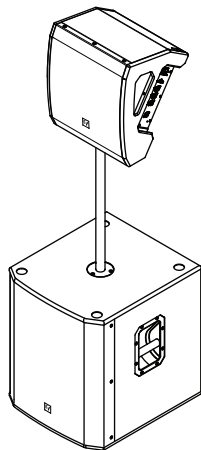


注意!

重量があるスピーカーは、2人以上で持ち上げて設置することを推奨します。スピーカーが重い場合に、1人で持ち上げや配置を行うと怪我をする恐れがあります。

1. フロア面が平らで安定しており、異物がないことを確かめます。
2. スタンドをフロア面に配置します。スタンドの脚をできるだけ広げてください。
3. 1台用のスピーカースタンドに複数のスピーカーを取り付けしないでください。
4. 本モニターを両手で持ち上げ、ポールに取り付けます。
ポールがポールカップに入っていることを確かめてください。
5. DSP MODE が TRIPOD に設定されていることを確かめます。

3.3 サブウーハーを取り付けたポールマウント



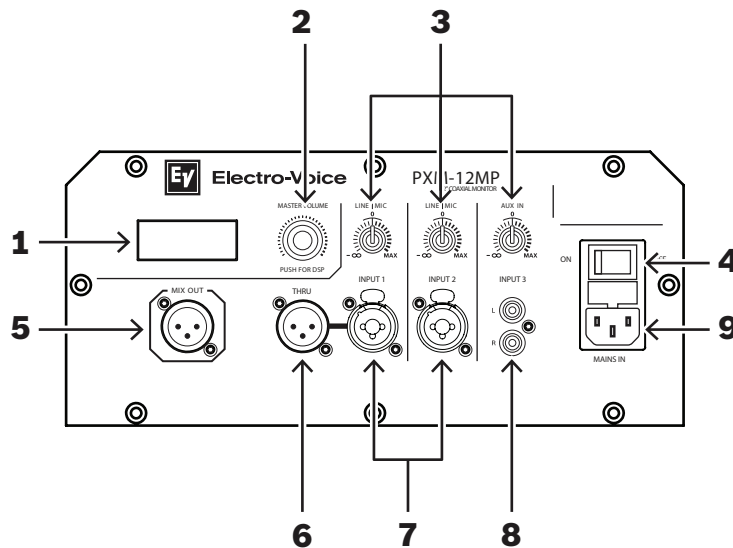
本モニターをサブウーハーポール上にセットアップするには、以下の手順を行います。

1. サブウーハーを安定した場所に置きます。
2. M20 ねじ山付きポールをサブウーハー上部のコンボポールカップに入れます。
3. M20 ねじ山付きポールを時計回りに回し、ポールをサブウーハーに固定します。
4. 本モニターを両手で持ち上げ、ポールに取り付けます。
5. ポールがスピーカーのポールカップに入っていることを確かめます。
6. DSP MODE が TRIPOD に設定されていることを確かめます。
7. サブウーハーの仕様に従って SUB パラメータを設定します。

4 入力パネルと DSP

4.1 入力パネルコントロール

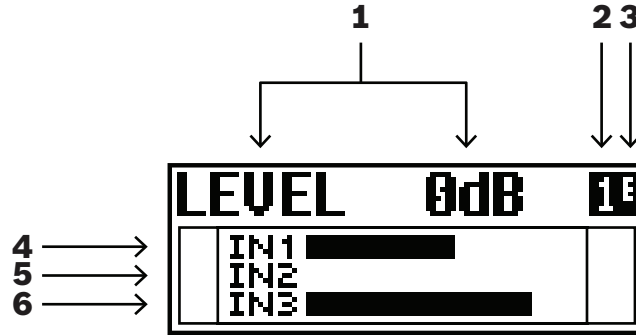
入力パネルには、広範囲なコントロールや設定に対応できるように複数のコントロールとコネクタが備わっています。



1. **LCD** - DSP コントロールとモニタリング・インタフェース。
2. **MASTER VOLUME** - 状況に応じて回転したり押し下げて操作するこのつまみは、DSP メニューの操作やパラメータ（マスターゲインなど）の調整を行うために使用します。
3. **INPUT LEVEL** - この回転式つまみを使用して、対応する入力のレベルを調整できます。戻り止めのある 12 時の位置はユニティレベル（ゲインなし、減衰なし）を表します。つまみを左に回すと LINE レベルソースが減衰し、右に回すと MIC レベルソースにゲインが加わります。INPUT 1、INPUT 2、および INPUT 3 用の入力レベルコントロールがあります。
4. **POWER** - 電源の ON または OFF を切り替える AC スイッチです。電源を ON にすると、約 3 秒後に LCD 画面が点灯します。
5. **MIX OUT** - 3 つの入力チャンネルすべての入力後レベルの合計。これにより、「ミックス」信号を PA や録音装置などの二次的な装置に送ることができます。DSP で調整することにより、ステレオ信号 (L + R) を出力するか、RIGHT チャンネルを分離出力できます。これは、PA 設定で LEFT メインを RIGHT メインに接続する場合に最適です。
6. **THRU** - INPUT 1 の並列出力。システムの DSP によって影響されません。INPUT 1 の信号を外部装置にデジチェーン接続する場合に使用します。
7. **INPUT 1、2** - ラインレベル信号ソース（ミキサーなど）やマイクを接続するためのバランス MIC/LINE XLR/TRS 入力。潜在的なノイズから守るため、可能な限り、平衡信号フィードを使用してください。
8. **INPUT 3** - モバイルデバイスやメディアプレーヤーなどの LINE レベル信号ソースを接続するためのステレオ RCA アンバランス入力。
9. **MAINS IN** - 装置の電源は、MAINS IN ソケットを通じて供給されます。付属の IEC 電源コードを使用して、本システムを安定したアース付き電源に接続してください。本装置は、製品ラベルとシステム仕様に記載されている電圧と電流を供給できるコンセントにのみ接続してください。

4.2 システムの状態

ノーマル



1. **LEVEL** - システムのマスター ゲインを dB で示します。範囲はミュートから +10 dB で、1 dB 単位で増減します。
2. **1** - 現在呼び出し中のプリセット番号を示します。5 種類のプリセットを保存して呼び出すことができます。
3. **E** - 現在呼び出し中のプリセットのパラメータが更新され、まだ保存されていないことを示します。
4. **IN1** - INPUT 1 に存在する信号の強度をメートル単位で示します。
5. **IN2** - INPUT 2 に存在する信号の強度をメートル単位で示します。
6. **IN3** - INPUT 3 に存在する信号の強度をメートル単位で示します。

LIMIT



ゲインリダクションが信号に適用されている場合、LIMIT が表示されます。これにより、アンプやコンポーネントが機能する制限値を超えないようにしながら、スピーカーの動作を継続できます。レベルが継続的にリミッタのしきい値を超えて動作しないようにしてください。

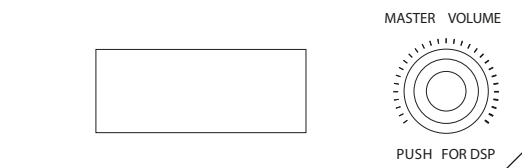
PK



PK（ピーク）が表示されている場合、INPUT 信号の強度はアンプが処理できる値を超えているためにクリップされています（歪んでいます）。信号ソースの音量を下げるか、対応する INPUT LEVEL つまみを反時計回りに回して INPUT LEVEL を下げてください。PK ステータスは常に避ける必要があります。クリップされた信号が一時的に流れ込むだけでも、システムコンポーネントが重大な損傷を受ける可能性があります。

4.3 DSP コントロール

統合 DSP コントロール メニューでは、スピーカーの DSP システム設定を複数選択することができます。



DSP コントロールメニューへのアクセス

DSP コントロールメニューにアクセスするには、次の手順に従います。

1. MASTER VOL つまみを押します。
2. MASTER VOL つまみを回してメニュー項目をスクロールします。
3. MASTER VOL つまみを押し、修正するメニュー項目を選択します。
4. MASTER VOL つまみを使用して、パラメータをスクロールします。
5. MASTER VOL つまみを押し、選択したパラメータを確定します。
6. その他の DSP およびシステム設定を変更するには、手順 2 - 5 を繰り返します。
7. ホーム画面に戻るには、EXIT を選択します。

4.4 DSP コントロールメニュー

次の表は、DSP メニューの構造と使用可能なパラメータを示しています。

EXIT	
MODE	MONITOR 1
	MONITOR 2
	TRIPOD
	GUITAR CAB
TREBLE	0 dB (デフォルト)
	-10 dB から +6 dB
MID	0 dB (デフォルト)
	-10 dB から +6 dB
MID FREQ	1000 Hz (デフォルト)
	70 Hz - 12 kHz、スweep可能
BASS	0 dB (デフォルト)
	-10 dB から +6 dB
SUB	OFF (デフォルト)
	80 Hz、100 Hz、120 Hz、150 Hz、200 Hz、ELX200-12SP、ELX200-18SP、EKX-15SP、EKX-18SP
FEEDBACK	OFF (デフォルト)
	70 Hz - 10 kHz

PHANTOM 1		OFF (デフォルト)
		ON
PHANTOM 2		OFF (デフォルト)
		ON
MIX OUT		L+R (デフォルト)
		R
DELAY		OFF (デフォルト)
		0.1m:100m:0.1m inc メートル: 0 m - 100 m フィート: 0 ft - 328.1 ft
LED		オフ
		ON (デフォルト)
		LIMIT
DISPLAY	BACK	
	LCD DIM	30 秒 (デフォルト)
		10 秒 - 60 秒
	BRIGHT	5 (デフォルト)
		1 - 10
	CONTRAST	5 (デフォルト)
1 - 10		
BACK		
STORE		EXIT、1、2、3、4、5、EXIT
RECALL		EXIT、1、2、3、4、5、EXIT
RESET	すべての設定をリセットしますか。	NO (デフォルト)
		YES
LOCK		OFF (デフォルト)
		ON
INFO		PXM-12MP
		<ファームウェアバージョン>
		©2019 Electro-Voice
EXIT		

4.5

DSP パラメータ定義

MODE - スピーカーの出力に適用される調整プリセットを調整します。4 種類のモードを使用できます。

- **MONITOR 1** - フロアモニター用に最適化されています。(デフォルト)
- **MONITOR 2** - LF をさらに増幅する二次的なプリセット。
- **TRIPOD** - スタンドやサブウーハーポールへの取り付け用に最適化されています。
- **GUITARCAB** - ギターやベースギターのキャビネット用に最適化されています。

TREBLE - システムの高周波数出力を調整するために使用します。

MID - システムの中周波数出力を調整するために使用します。これは、中央周波数が MID FREQ パラメータによって決定される、Q 値が設定されたパラメトリック EQ バンドを制御します。(デフォルト: 0 dB)

MID FREQ - MID EQ バンドの中央周波数を調整します。(デフォルト: 1000 Hz)

BASS - システムの低周波数出力を調整するために使用します。

SUB - 指定したカットオフ周波数でハイパスフィルタを有効にします。Electro-Voice 製のサブウーハーを使用する場合は、メニューから該当するモデルを選んでください。その他のサブウーハーを使用する場合は、メニューから該当する汎用ハイパス周波数を選んでください。

FEEDBACK - Q 値が狭いノッチフィルタを有効化し、中央周波数を調整します。これは、特定の周波数によってシステムでハウリングが発生している状況で使用できます。

PHANTOM 1 および 2 - INPUT 1 と INPUT 2 のいずれかまたは両方で +15V ファンタム電源を有効化します。これは、ほとんどのコンデンサーマイクで使用するのに十分な電圧です。

MIX OUT - MIX OUT 出力へのルーティングと合計信号を調整します。2 つのシステムからのステレオ画像が必要な場合はこのパラメータを調整します。

- **L + R** - INPUT 3 の LEFT および RIGHT 信号が合計され、スピーカーと MIX OUT 出力の両方に出力されます。
- **R** - INPUT 3 の RIGHT 信号が MIX OUT 出力に直接ルーティングされます。スピーカーは LEFT 音声信号のみを出力します。

どちらの設定でも、INPUT 1 と INPUT 2 からの信号も合計されて MIX OUT 出力にルーティングされます。

DELAY - このパラメータは、信号がスピーカーに出力される前に適用される音声遅延の量を設定します。これは、聴衆からの距離が異なるスピーカー間の違いを補正するのに役立ちます。MIX OUT と THRU の出力は影響されません。

LED - フロントグリルにある白色 LED の機能を有効化して調整します。

- **ON** - スピーカーの POWER スイッチが ON に設定されている間、LED は常に点灯します。
- **OFF** - LED は常にオフのままです。
- **LIMIT** - 通常動作時に LED はオフのままです。入力信号が内部ピークリミッタのしきい値を超えると、一時的に LED が点灯します。これはリミッタがアクティブであることを示すだけです。レベルが継続的にリミッタのしきい値を超えて動作しないようにしてください。

DISPLAY - LCD ディスプレイを調整するためのパラメータが含まれるサブメニュー。

- **LCD DIM** - ON に設定すると、LCD ディスプレイで 2 分間操作がなかった場合にディスプレイが自動的に暗くなります。(デフォルト: ON)
- **BRIGHT** - LCD の明るさを 1 - 10 の範囲で設定します。(デフォルト: 5)

- **CONTRAST** - LCD ディスプレイのピクセル間のコントラストを 1 - 10 の範囲で調整します。
(デフォルト: 5)

STORE - このメニューを使用すると、最大 5 つのカスタムユーザー設定を作成できます。
カスタムユーザー設定を保存するには、次の手順に従います。

▶ DSP メニューから、STORE までスクロールします。

MASTER VOLUME つまみを押して STORE を選択します。

1. MASTER VOLUME つまみを押して、1 を選択します。
2. MASTER VOLUME つまみを使用して文字をスクロールします。
3. MASTER VOLUME つまみを押し、希望する文字を選択します。
4. MASTER VOLUME つまみを回し、次の文字入力部分まで移動します。
5. MASTER VOLUME つまみを使用して SAVE までスクロールします。
6. MASTER VOLUME つまみを押して、SAVE を選択します。
7. EXIT を選択してホーム画面に戻ります。

その他のカスタムユーザー設定を保存するには、手順 3 - 8 を繰り返します。

RECALL - このメニューを使用すると、最大 5 つのカスタムユーザー設定を取得できます。
カスタムユーザー設定を呼び出すには、次の手順に従います。

1. DSP メニューから、RECALL までスクロールします。
2. MASTER VOL つまみを押して RECALL を選択します。
3. MASTER VOL つまみを押して、1 を選択します。
4. EXIT を選択してホーム画面に戻ります。

RESET - このメニューは、スピーカーを工場出荷時設定にリセットするために使用します。
システムを工場出荷時設定にリセットするには、次の手順に従います。

1. DSP メニューから RESET を選択します。
2. YES を選択します。

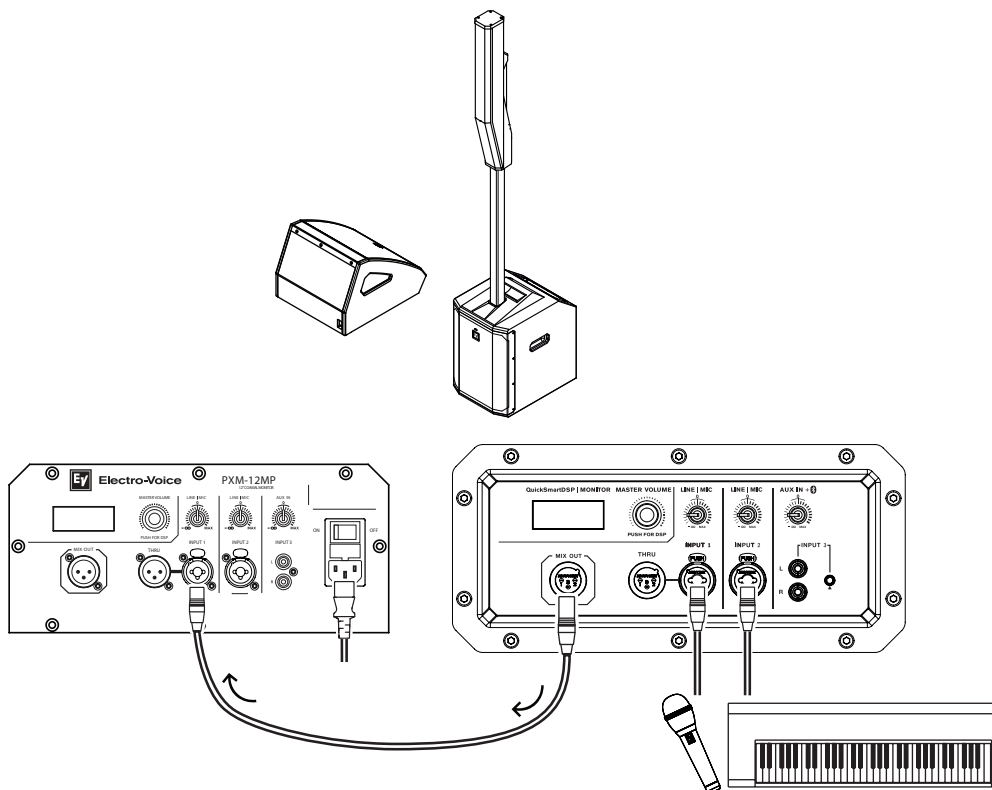
INFO - 製品名、ファームウェアバージョン、著作権情報を表示します。

EXIT - ホーム画面に戻ります。

5 推奨構成

5.1 専用モニター

典型的な専用モニター用途。メイン PA（図は EVOLVE 50）から信号が PXM-12MP モニターに送られます。



注記!
矢印の方向は信号経路を示します。

MODE:	MONITOR 1 または MONITOR 2
SUB:	オフ

表 5.1: PXM-12MP の DSP 設定



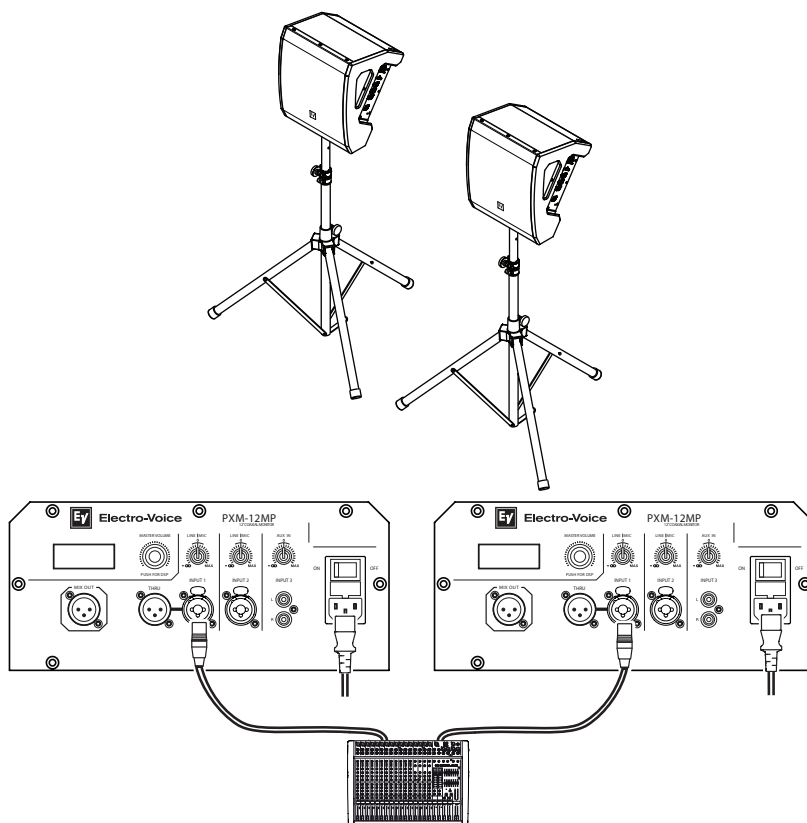
注記!
EVOLVE 50 用の設定については、EVOLVE 50 ユーザーマニュアルをご覧ください

参照情報

- DSP コントロールメニュー, ページ 14

5.2 ステレオ PA

スタンドを使用し、DSP の基本的な調整を行うことにより、2 台のモニターを従来型のステレオ PA として設定できます。



MODE:	<TRIPOD>
SUB:	<OFF>
MIX OUT:	<R>

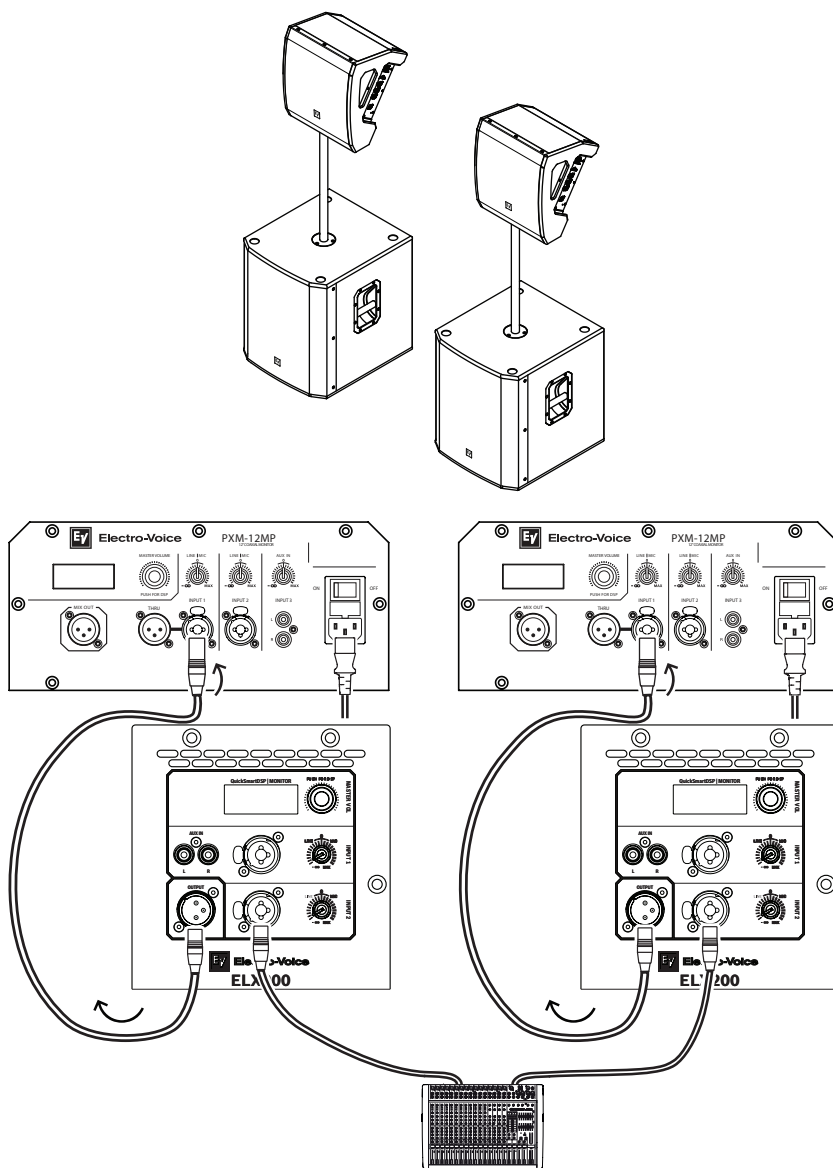
表 5.2: PXM-12MP の DSP 設定

参照情報

- DSP コントロールメニュー, ページ 14

5.3 サブウーハーを使用したメイン PA

サブウーハーを追加すると、システムの LF レスポンスが向上するだけでなく、全体的なヘッドルームが大きくなります。



MODE:	TRIPOD
SUB:	ELX200-18SP

表 5.3: スタックされた PXM-12MP と ELX200-18SP サブウーハーの DSP 設定



注記!

ELX200 用の設定については、ELX ユーザーマニュアルをご覧ください。

参照情報

- DSP コントロールメニュー, ページ 14

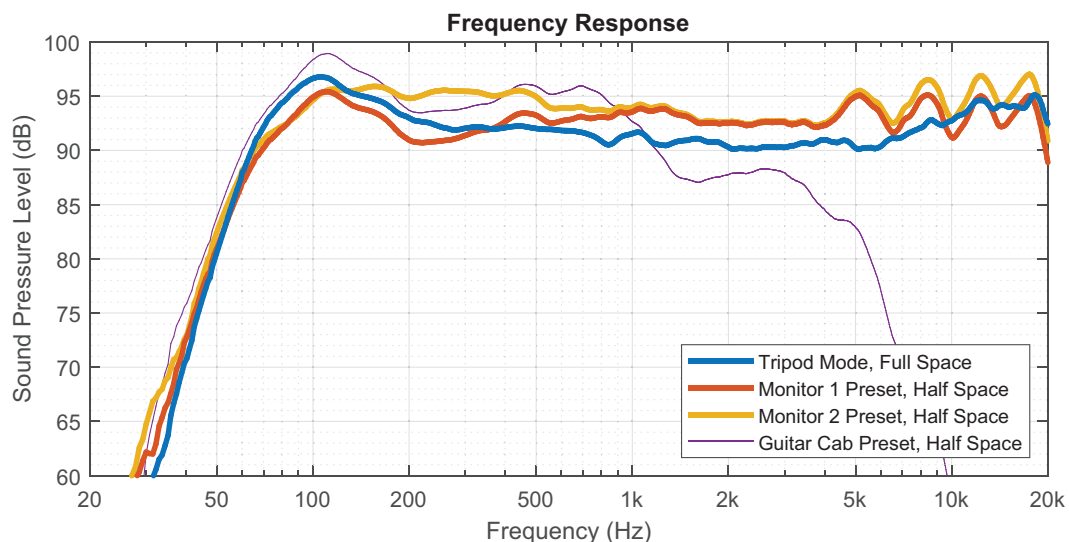
6 トラブルシューティング

症状	考えられる原因	対応策
1. 音が出ない	アンプ	電子機器がすべてオンになっていること、信号ルーティングが正しいこと、音源がアクティブであること、ボリュームを上げていることなどをチェックし、必要に応じて修正/修理/交換してください。それでも音が聞こえない場合は、配線に問題がある可能性があります。
	配線	アンプに正しいケーブルを接続したことを確認します。アンプを通して何か音楽を小さな音量で再生します。テスト用スピーカーを、故障しているラインと並列に接続します。サウンドレベルが消えている、または非常に弱い場合、ショートしています。問題が解決するまで、テスト用スピーカーを使用し、ラインを移動して各接続 / 接続部のテストをします。極性が正しいかも確認してください。
2. 低域特性が不十分	SUB メニューでクロスオーバー周波数がアクティブになっている。	システムとともにサブウーハーが使用されていない場合は、OFF 位置を選択します。
3. 断続的なパチパチというノイズやひずみ雑音がある	接続不良	アンプとスピーカーのすべての接続をチェックし、ケーブルに汚れがなくしっかりと接続されていることを確認してください。問題が解決しない場合は、配線をチェックします。問題 1 を参照してください。
4. ブーツ、シューツ、ブーンといったノイズが絶えず鳴る	音源またはその他の電子機器の不具合	何も再生していないのにノイズが解決しない場合、必要に応じて各コンポーネントを調べ、問題を特定してください。おそらく電子機器の信号チェーンに原因があります。
	システムのグラウンドが不適切、またはグラウンドループが発生している	必要に応じてシステムグラウンドをチェックし、修正してください。
	入力ゲインノブが MIC 位置にない	入力ゲインノブレベルをゆっくり上げ、マイクプリアンプを有効にします。
5. INPUT 1 または INPUT 2 に接続されたマイクの音が出ない	マイクにファンタム電源が必要です。	メニューで PHANTOM 1 または PHANTOM 2 を ON に切り替えます。「DSP コントロールメニュー, ページ 14」を参照してください。
	入力ゲインノブが MIC 位置にない	入力ゲインノブレベルをゆっくり上げ、マイクプリアンプを有効にします。
6. 音に歪みがある、フロント LED が OFF である、LCD 画面で LIMIT が ON である	入力レベルが高すぎる	限界を避けるために入力レベルまたはスピーカーのレベルノブを下げます。
	ゲイン構造が正しくない、またはソース入力（ミキシングコンソール/プリアンプ）が暴走している	LCD 画面上の VU メーターインジケータを使用して、ソースのレベルコントロールが正しい構造になっていることを確認します。VU メーターバーが動かなくなっている、またはシステムが LIMIT を示している場合、入力またはソースレベルが高すぎます。

症状	考えられる原因	対応策
7. 入力レベルを増幅したときにマイクがハウリングを起こす	ゲイン構造が正しくない	ミキシングコンソールまたは入力ソースのマイクレベルを下げます。マイクがスピーカーに直接接続されている場合は、スピーカーの入力レベルを下げます。マイクを音源の近くに置くと、フィードバック前のゲインが増加します。問題 6 を参照してください。
	マイクの位置がスピーカー前面に近すぎる	ハウリング周波数が見つかるまで FEEDBACK 周波数を調整します。「DSP コントロールメニュー, ページ 14」を参照してください。
8. DSP メニューがロックされている	メニューロック機能がオンになっている。ロック記号が LCD 画面に表示されます。	MASTER VOL つまみを 5 秒間押し続けます。

7 テクニカルデータ

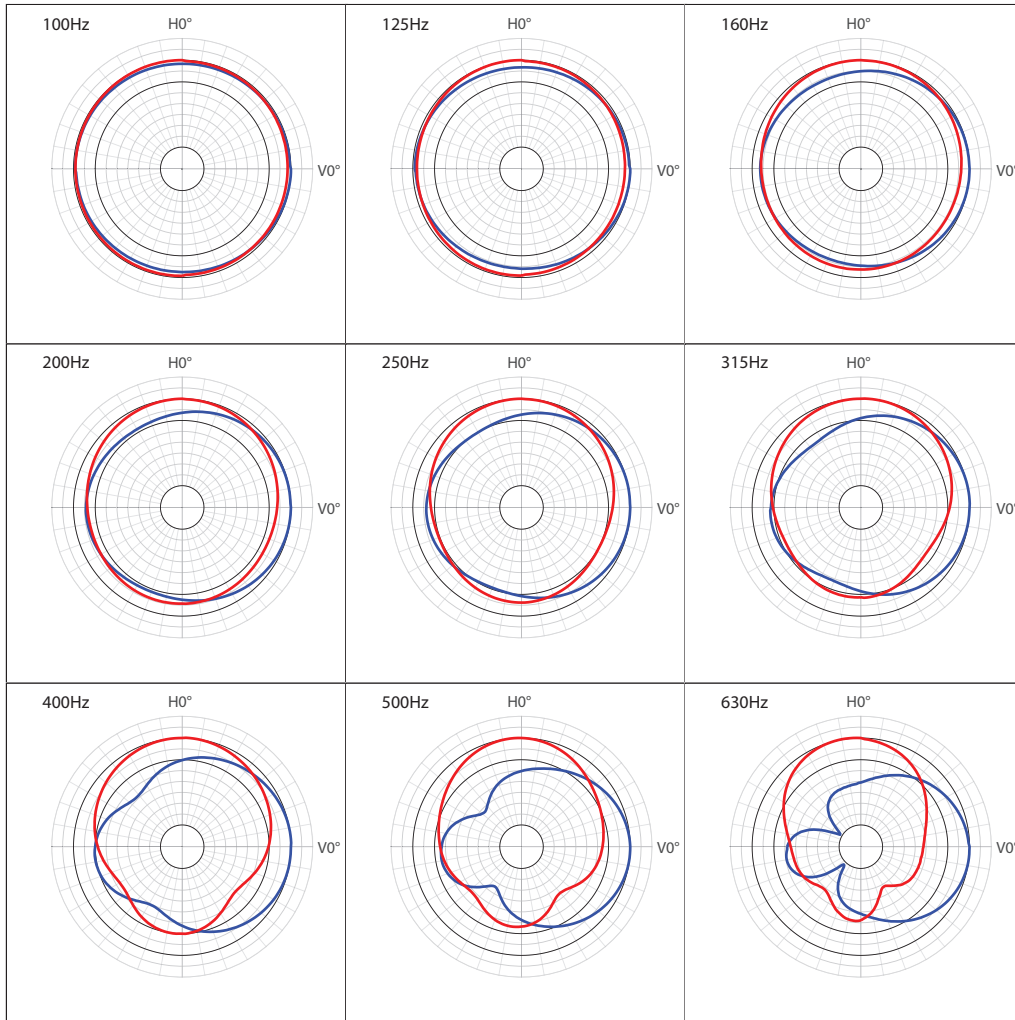
周波数特性 (-3 dB) :	64 Hz - 20 kHz
周波数レンジ (-10 dB) :	53 Hz - 20 kHz
モニターの角度:	55°
最大 SPL:	129 dB
公称指向角度 (水平 x 垂直) :	90° x 90°
アンプ定格出力:	700 W
LF チャンネル定格:	500 W
HF チャンネル定格:	200 W
クロスオーバー周波数:	1.6 kHz
トランスデューサー:	CXCA2128-1NA 12 インチ / 1.75 インチ 2 Way 同軸
入力コネクタ:	XLR/TRS コンボ入力 x 2 ステレオ RCA 入力 x 1 XLR THRU 入力 x 1 XLR MIXOUT 出力 x 1
エンクロージャ:	15 mm ベニヤ板
グリル:	スチール、黒パウダーコート塗装
色:	黒
寸法 (高さ x 幅 x 奥行き) : mm (インチ)	334 mm x 409 mm x 484 mm (13.1 インチ x 16.1 インチ x 19.0 インチ)
本体重量:	13.5 kg (29.8 lb)
梱包重量:	15.6 kg (34.3 lb)
消費電力:	100 - 240 V AC、50 - 60 Hz、0.8 - 0.5 A



7.1 軸外応答

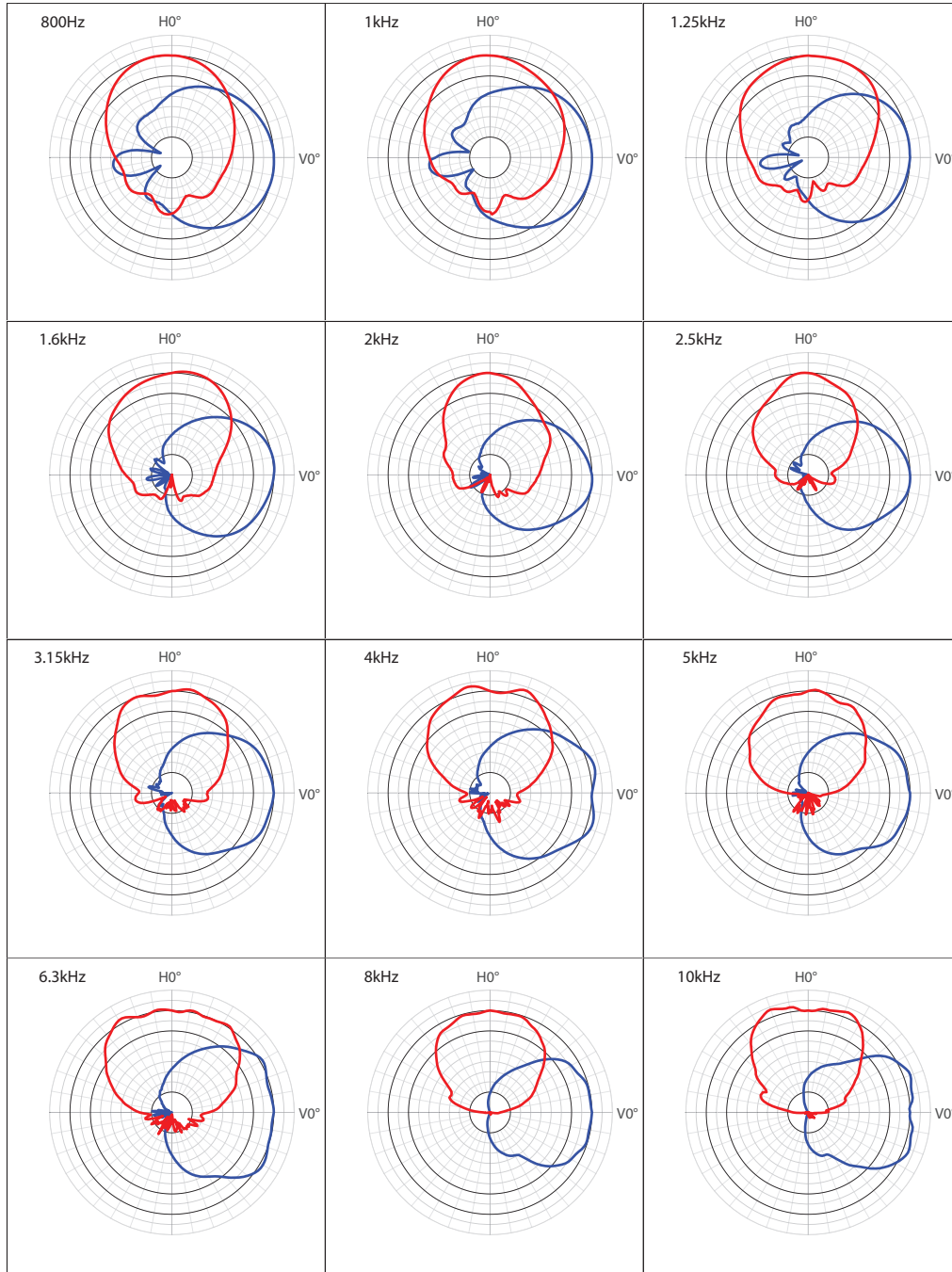
10 degrees / Division
 3dB / Division
 0dB, -6dB, and -24dB Bold

— Vertical
 — Horizontal

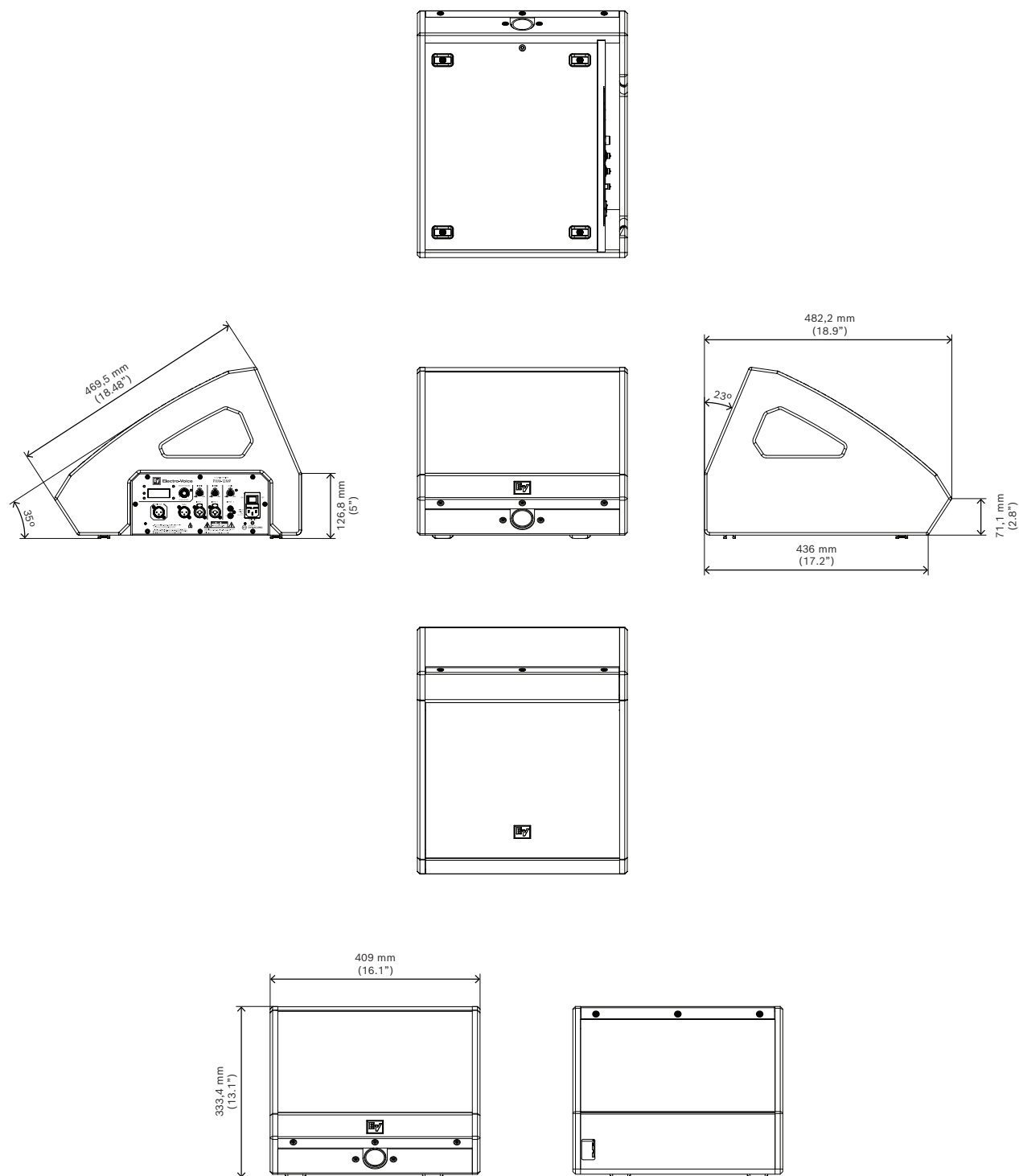


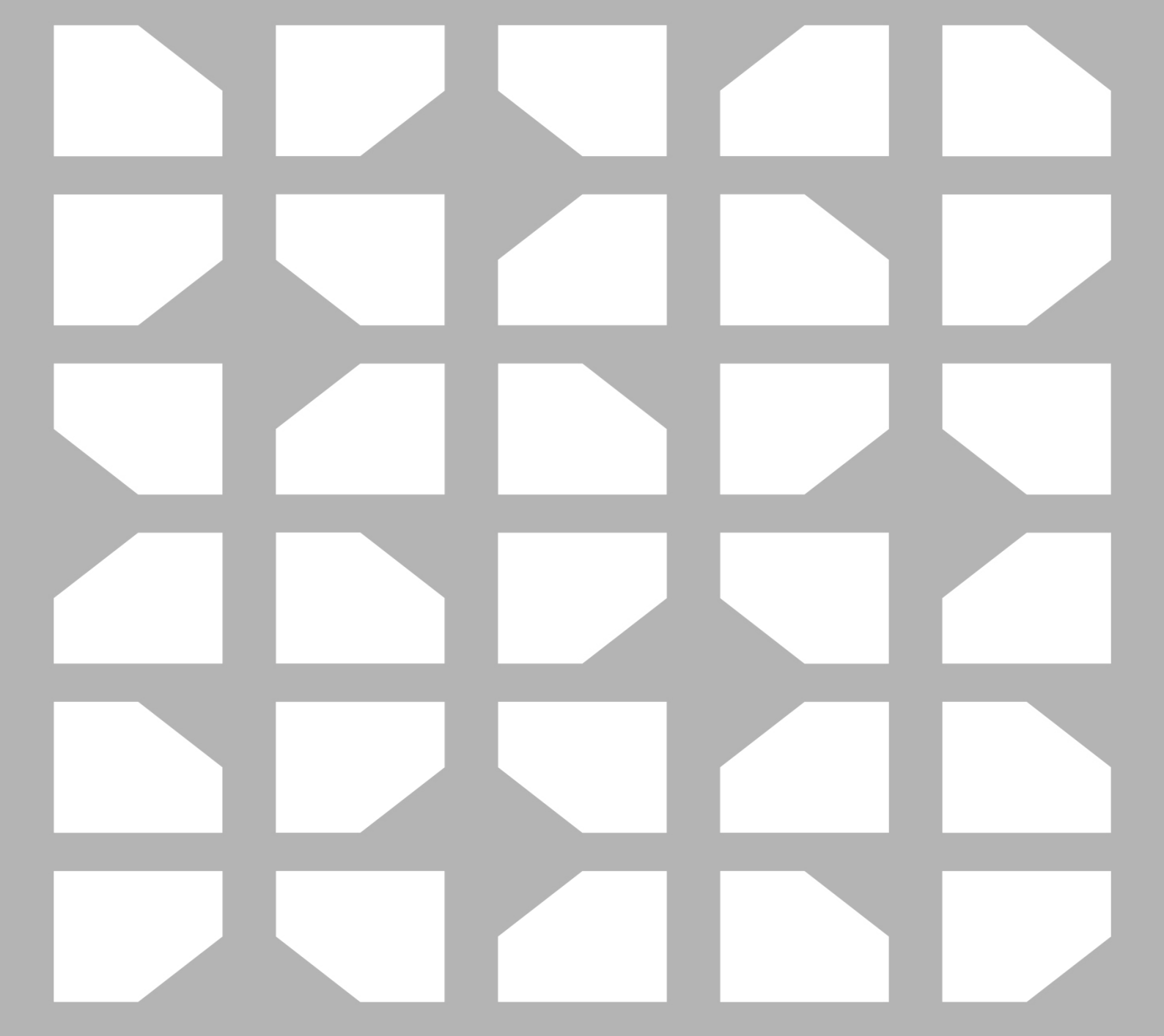
10 degrees / Division
3dB / Division
0dB, -6dB, and -24dB Bold

— Vertical
— Horizontal



7.2 寸法





Bosch Sicherheitssysteme GmbH **Bosch Security Systems, LLC**

Robert-Bosch-Ring 5
85630 Grasbrunn
Germany

www.boschsecurity.com

© Bosch Sicherheitssysteme
GmbH, 2022

12000 Portland Avenue South
Burnsville MN 55337
USA

www.electrovoice.com

© Bosch Security Systems,
LLC, 2022